



◇1年生の授業より 「アリア일랜드」(参考映像:BBC Worldwide) 集団生活の充実

3000匹もの大群のアリがえさを求めてエジプトのナイル川を渡ります。泳げないアリは、どうやって川を渡るのでしょうか。アリたちはお互いにしがみつき、1つのボールのようになります。水面に出ているアリと水面下で泳いでいるアリが交代をしながら移動します。力を合わせて移動するアリたちの行動を見て、自分はクラスという集団のために何をしたらよいのか、また、クラスが団結するために必要なことは何かを考えました。

【生徒の感想】

- ・人間には自己中心的な人がいます。アリたちは、他のアリのことを考えながら行動できていてすごいと思いました。
- ・みんなと協力することで、難しいことにもチャレンジでき、達成できることがわかりました。
- ・1つの目標を達成するためには、一人一人自分の役割を果たし、なかまと協力し合うことが大切で、その中の一人でも手を抜いたりわがままを言ったりしてしまうとなかまの和を乱してしまうことがわかりました。



◇2年生の授業より 「松葉杖」 思いやり、感謝

松葉杖を使用している生徒が転校をしてきました。クラスメイトたちは、友人だからとノートを貸したり、荷物を持ったり、かいがいしく世話をし始め、僕も将棋部に誘います。ところが、テストの結果、転校生がノートを貸した子よりもよくできていました。また、誘った僕よりも将棋が圧倒的に強く、僕は対局で負けてしまいました。そうして、僕を含め「友人だから」と言い手伝っていたクラスメイトたちは、手伝わなくなりました。ある日のこと、教室の隅においていた松葉杖に級友たちがひっかかり、転んでしまいます。「友人」と話していた級友たちは転校生に文句を言い始めました。この言動から真の友情とは何かを考えました。

【生徒の感想】

- ・友情とは、相手を見下すのではなく、互いに尊重し合うことだと思う。
- ・自分のために行動するのではなく、その人のために思って行動することで、友情は生まれると思う。



◇3年生の授業より 「二通の手紙」 遵法精神、公德心

入園締め切り時間をわずかに過ぎて動物園を訪れた幼い姉弟に同情した入園係の元さんは、園の規則を破って特別に中に入れてあげます。しかし、その後閉園時間を過ぎても姉弟が戻らなかったため、大騒ぎになりました。後日、姉弟の母からお詫びとお礼の手紙が届きましたが、上司からは「停職処分」とする通告書を渡されました。規則より心情を優先させたために起こったトラブルを通して、規則は何のためにあるのかを考えました。授業の感想を「元さんにあてて書いた手紙」という形にしました。

◇元さんへ。あの日から私は、入園終了後には絶対にお客様を入れないようにしています。

すごく心は痛みますが、かわいそうだと思っても規則を守ることで「万が一」を考え、危険から命を守ることができます。これからも入園係を続けていこうと思います。

◇元さんへ。あの日から私は、自分の感情に任せて、無責任な判断はしないように

心がけています。元さんのように人を思う心を規則にならって届けていきたいです。

